

単元名 「水産都市気仙沼 海と共に生きる」(70時間扱い)

～ わたしたち気仙沼の海の環境と海と共に生きる気仙沼の今を発信しよう！～

1 単元の構想

気仙沼市は水産都市として地域の産業を支えてきた。その背景には、気仙沼市の豊かな自然環境や水産業を守り伝えてきた人的環境がある。しかし、東日本大震災によってカキやワカメなどの養殖施設や水産加工施設等が壊滅、漁業者の離職等によって、養殖業や水産加工等の産業は大きな打撃を受けた。また、気仙沼湾の海底には、瓦礫や油の混じった泥が堆積するなど湾内の環境も変わり、カキやワカメの養殖などの育てる漁業への影響が懸念され、誰もが気仙沼の水産業の将来を疑った。だが、こうした状況にあっても、多くの方々が震災直後から気仙沼の水産業の早期再開に向けて動き出し、2年が経過した現在は、カキやワカメなどの養殖や水産加工施設が再開し、少しずつ水産都市気仙沼の復興に向かって歩みは始めている。

このようなとき、震災前後の気仙沼の水産業の現状や海の環境を見つめなおさせたり、震災から立ち直り、海と共に生きようとする人々の思いや願い、努力を探ったりする体験は、自分たちが住む「水産都市気仙沼」としての未来について思いをもたせ、海と共に生きていくために自分たちに何ができるかを考え、社会の一員として主体的に地域にかかわっていこうとする資質・能力を高め、持続可能や社会の構築の担い手を育む上で意義があると考えられる。

このようなことから、導入では震災前の気仙沼市の水産業の様子を想起させたり、地区で養殖業を営む方の話を聞いたりする活動を通して、「海と共に生きてきた気仙沼」の姿に着目させ、テーマや課題の設定につなげたい。探究活動では、「海と共に生きる」をテーマに気仙沼の何を探り、発信するかを考えさせ、「森と海のつながりを大事に生きてきた漁師の姿」や「震災からの復興に向けての漁師の姿」など、気仙沼の海を支える環境や人々の姿を探究する活動を重視しテーマに迫らせる。まとめでは、「森と海の環境のつながりを大事に生きようとする漁師の思いや願い」や「復興から立ち上がり海と共に生きる人々の思いや願い」「復興の取り組み」などを発信する。また、「世界に発信！海と共に生きる気仙沼」をテーマに、地域の方や取材した方々とのパネルディスカッションを設定する。

2 単元のねらい

震災後の気仙沼の水産業の現状や海の環境を捉えさせたり、「水産都市気仙沼」の課題や海と共に生きる人々の思いや願いを探究する学習を通して、自分たちが住む水産都市気仙沼としての未来について思いをもたせ、海と共に生きる人々の思いや復興に向けての水産業の様子などを進んで発信しようとする。また、海と共に生きていくために自分たちに何ができるかを考え実践しようとする態度を育む。

3 身に付けさせたい力

- (1) 学ぶ意欲・・・震災後の海の環境や水産業の問題に目を向けて課題を設定し、課題の解決に向けて見通しをもって友達と協力し合い、粘り強く課題を追究する。また、水産都市気仙沼としての未来の姿に思いをもち、海と共に生きる人々の思いや復興に向けての水産業の様子などを進んで発信しようとする。
- (2) 探究する力・・・震災後の気仙沼の海の環境や水産業の復興に向けて頑張っている方々の話などから課題を見出し、課題解決に向けて友達と協力し合いながら目的をもって情報を収集したり、調べた結果を関連付けて整理・分析したり、多面的・総合的に探究し、震災後の海の様子や海と共に生きる人々の願いや努力について、考えたことや伝えたいこと等を目的に合わせて表現する。
- (3) 活用する力・・・震災後の水産業の様子や海で働く人々の思いや願い、努力などを、各教科の言語活動で身に付けた言語力を活用し、取材をしたりアンケートを採ったりなどしながら情報収集したり、考えたことや伝えたいことを写真等の資料を用いて表現し、発信する。
- (4) 気付く力・・・水産都市気仙沼は、恵まれた自然環境や復興に向かう人々の願いや努力によって支えられていることに気付く。

4 評価規準

【関心・意欲・態度】

- 震災後の海の環境や水産業の問題に目を向けて課題を設定し、課題の解決に向けて見通しをもって友達と協力し合い、粘り強く課題を追究する。
また、水産都市気仙沼としての未来の姿に思いをもち、海と共に生きる人々の思いや復興に向けての水産業の様子などを進んで発信しようとする。

【思考・判断・表現】

- 震災後の気仙沼の海の環境や水産業の復興に向けて頑張っている方々の話などから課題を見出し、課題解決に向けて友達と協力し合いながら目的をもって情報を収集したり、調べた結果を関連付けて整理・分析したり、多面的・総合的に探究し、震災後の海の環境や海と共に生きる人々の願いや努力について考えたことや伝えたいこと等を目的に合わせて表現することができる。

【技能】

- 震災後の水産業の様子や海で働く人々の思いや願い、努力などを、各教科の言語活動で身に付けた言語力を活用し、取材をしたりアンケートを採ったりなどしながら情報を収集し、考えたことや伝えたいことを写真等の資料を用いて表現し、発信することができる。

【気付き】

- 水産都市気仙沼は、恵まれた自然環境や復興に向かう人々の願いや努力によって支えられていることに気付くことができる。

5 ESDの視点として重視する価値と培いたい資質・能力

【重視する価値】

- ア 人権の尊重・・・一人一人の人権を大切にし、尊重し合うことが大事だという価値
- イ 共存・共生・・・人は自然の一部であり、いのちを大切にし、自然と共に生きることが大事という価値
- ウ 平和・希望・・・地域社会の一員として、だれもが安心してくらする明るい地域社会をつくることが大事だという価値
- エ 多様文化の尊重・・・多様な文化を尊重し、互いに協力し合って生き抜くことが大事だという価値

【培いたい資質・能力】

- ① 批判的に考える力…他者の意見や情報をよく検討・理解して採り入れ、積極的・発展的に考え、よりよい解決策を見いだす力
- ② 見通しをもって計画を立てる力…見通しや目的意識、他者意識をもって計画を立てる力
- ③ 多面的・総合的に考える力…様々なものごとを関連付けて考える力
- ④ 気持ちや考えを表現する力…自分の考えを簡潔に分かりやすくまとめ伝える力
- ⑤ 他者と協力する態度…多様な価値を認め相手の立場に立って考え、協力して行動しようとする態度
- ⑥ つながりを尊重し感謝する態度…自分が様々なものごととつながっていることに関心をもち、感謝の気持ちをもって生活しようとする態度
- ⑦ 進んで行動する態度…自分の言動に責任をもち、みんなのために進んで行動しようとする態度

6 単元の計画

月	段階	主な学習活動	時間	学習のねらい	○主な言語活動 ※書く活動 【 】 教科との関連	連携・活用	主な評価規準
4	つかむ・見通す (課題設定・計画)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">復興，気仙沼の水産業の今を知ろう。</div> <p>(1) 震災前の気仙沼市は，どのような街だったのか画像を見ながら振り返り，復興に向けての思いや願いをカードに書いて意見交流する。</p> <p>(2) 水産業の復興に向けて，海の仕事を続ける方々の話を聞く。 ①北鮪鯉組合の方や船員 ②カキ養殖（小松清勝さん） ③貝収集（小野寺憲雄さん）</p>	7	<p>・山・川・海の恵まれた自然環境，港の様子やみなと祭りの様子，観光地の様子などを振り返り，復興に向けた思いや願いをもつことができる。</p> <p>・震災から水産業の復興に向けての苦労や努力を知り，復興への思いや希望をもつことができる。</p> <p>・自然を大切にしながら，カキ養殖業を営んできた小松さんなどの復興への思いをとらえることができる。</p>	<p>○体験を思い出して話し合う ※復興に向けて，感じたことを「総合ノート」に書く</p> <p>○海の仕事を続ける方々の思いを聞き取り，感想を交流する ※ゲストティーチャーの話を聞き，思ったことや感じたことを「総合ノート」に書く</p>	<p>・北鮪鯉組合 ・カキ養殖を営む小松清勝さん ・貝収集家で尾崎に住んでいた小野寺憲雄さん</p>	<p>【気付き】 ・震災前の気仙沼のよさに気付く，復興に向けた思いや願いをもつことができる。</p> <p>【技能】 ・自分の思いや考えを「総合ノート」に書き出すことができる。</p>
5		<p>(3) (1)(2)から，思ったことや考えたことを共有し，みんなで何を探り，何を伝えたいかを出し合って学習テーマを決める。 ①(2)(3)(4)の活動からわき出た思いをカードに書き出す。 ②思いを発表し合いみんなで探究したいことを見つけ学習テーマを決める</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海と共に生きる気仙沼を発信しよう！</div>		<p>・海の水産業を支えてきた自然環境や海と共に気仙沼の漁業を支えてきた人々の思いや願い，努力から，自分が探りたいこと，伝えたいことの思いを見出し，テーマを設定することができる。</p>	<p>○探究したいことや思いを話し合う ※探究したいことや自分の思いをカードに書き出す ○カードを仲間分けし整理する</p>		<p>【関心・意欲・態度】 ・海の水産業を支えてきた自然環境や海と共に気仙沼の漁業を支えてきた人々の思いや願い，努力から，自分が探りたいこと，伝えたいことの思いを見出し，主体的にテーマを設定することができる。</p>

編集会議を開いて、取材計画を立てよう。

14

(1) 発信したいことを各自カードに書き出す。

(2) ・自分が伝えたいことをしっかりと
もってカードに書き出すことができる。

○伝えたいことを考え整理する

※自分の思いを書き出す

(2) それを発信したい思いを伝え合い共有し、類型化する。
例) ・海の恵みを支える森
・海の仕事で生きる人々
・海の恵みに感謝する行事
など

(2) ・自分の思いと比較しながら、友達の
思いを捉えることができる。

○自分の思いを伝え合う

※それぞれの思いを類型化し、整理して
カードに書く

(3) ゲストティーチャーから、
フォトブックの作品を紹介してもらい、
自分たちの思いを発信する方法として
効果的であることを知り、
作り方や取材をする際の留意点等を学ぶ。

(1) ・フォトブックを作る目的や
フォトブックで発信する効果、
作り方を理解できる。

○大事なことを聞き取る

※大事なことを聞き取ってメモに書く

・気仙沼市復興支援
専門員
北林牧先生

(4) 共通する思いをもった
同士でグループを編成する。

(2) ・同じ思いを共有しグループを
つくることができる。

○互いの思いを聞き取って
グループをつくる。

例) ①海の恵みを支える森を
テーマとしたグループ
②海の仕事で生きる人々を
テーマとしたグループ
③海の恵みに感謝する行事
をテーマとしたグループ

※ 大きなテーマで大グループを
作り、分担して場面を作る。

【思考・判断・表現】

・自分が伝えたいことをしっかりと
考え、明確に思いをカードに
書き出すことができる。

【思考・判断・表現】

・友達の意図を捉え、分類する
ことができる。

【技能】

・フォトブックを作る目的や
効果、作り方を理解できる。

【思考・判断・表現】

・友達の思いを共有しグループ
を編成できる。

(5) グループ毎に編集会議を開き、テーマに合わせた内容や構成を決める。

① 思いを伝えるためのストーリー（内容）とページ数を考え決める。

② 小グループをつくり、担当ページを決める。

(6) 小グループ毎に取材計画を立てる。

① 自分たちの思いを伝えるために、担当したページの内容や構成を話し合う。

② 取材先、日時、方法を考える

③ 取材先を予想し、質問することや必要な資料の見通しを立てる。

④ 役割分担などを決める。

ミニ記者になって取材しよう

(1) インタビューの仕方やマナー、写真を撮る際のテクニックなどを学ぶ。

(2) 取材計画に沿って取材相手にアポを取る。

① 取材の目的や日時を話す

② 質問したい内容を伝える

③ 必要な資料等をお願いする

(3) ・友達と協力し合って、思いを伝えるための内容を決めることができる。

(4) ・友達と協力して、取材計画を立てることができる。

17

(1) ・インタビューしたり、写真をとったりなど、友達と協力して必要な情報を集めることができる。

(2)

・取材先への連絡の仕方を理解し、取材の目的や日時等を伝えることができる。

(2)

○編集会議で内容を話し合う
※考えたことを整理して書く

○取材計画を立てる
※見通したことを整理して書く

○取材する
※取材することを書き出す
※聞き取ったことをメモする

○取材先へ取材依頼の連絡をする
※必要なことを書き出して伝える
※必要なことをメモする

【思考・判断・表現】

・思いを伝えるため、どのような内容でテーマに迫るかを考え、内容を決めることができる。

【関心・意欲・態度】

・友達と協力し目的をもって計画を立てることができる。

【技能】

・取材依頼の方法やインタビューのマナー、写真の撮り方など、取材に必要な知識を理解することができる。

【技能】

・大事なことを書き出して伝えたり、大事なことを聞き取ってメモしたりしながら連絡を取ることができる。

<p>探究する (情報収集・整理・分析)</p>	<p>(3) 相手の理解を得たら、具体的に取材の練習をする。</p> <p>(4) 編集計画に沿って取材をする。 【グループ取材①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューする。 ・写真を撮る (方向や場面を考えて撮影する) ・感じたことをメモする 	<p>(12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取材の仕方を理解し、友達と協力して練習することができる。 	<p>○取材の練習をする</p> <p>※大事なことを書き出しながら伝える ※大事なことを落とさずにメモする</p> <p>○取材する</p> <p>※大事なことを書き出しながら伝える ※大事なことを落とさずにメモする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ボランティア (保護者) に同行していただく。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力し目的をもって取材の練習をすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材内容や取材の順序をよく考え、質問することができる。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つはしっかりと分かりやすく質問し、取材することができる。
<p>夏休み</p>	<p>※ 編集計画に沿って取材をする。</p>	<p>課外活動</p>				
<p>8・9 10</p>	<p>【共通取材】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>マグロ船を取材しよう</p> </div> <p>①見学の計画を立てる</p> <p>②各グループの取材計画を確認しする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問内容や役割分担 ・カメラなどの持ち物 <p>③見学・取材する</p> <p>④見学御, 取材したことや感想を整理する</p> <p>【グループ取材②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材内容を見直し, 再度取材する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・マグロ船の見学を通して, 水産都市気仙沼の復興の様子や船員さん方の思いを感じ取る。 	<p>○取材する</p> <p>※大事なことを書き出しながら伝える ※大事なことを落とさずにメモする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北鮪鯉組合 	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材内容や取材の順序をよく考え、質問することができる。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つはしっかりと分かりやすく質問し、取材することができる。

<p>11</p> <p>まとめ・伝え合う まとめ・表現・発信</p>	<p>フォトブックに載せる原稿を作成しよう</p> <p>15</p> <p>(1) グループ毎に編集会議を開き、フォトブックの担当ページの原稿を作る。 ①集めた情報を整理・分析する。 ②見る人やフォトブックで伝えたいことを考えながら、写真を仮貼りしたり、タイトルや伝えたいことばを入れたりしながら構成を考える。</p> <p>(2) できあがった原稿を全体で見合って、意見交流する。</p> <p>(3) 全体で話し合った結果を基に、グループ毎に原稿を校正したり、再取材したりする。</p> <p>(4) 清書原稿を全体で見合って、意見交流する。</p> <p>※ 児童の原稿を基に、編集ソフトを使ってデジタル化し、編集会社に発注する。</p>	<p>15</p> <p>(6)</p> <p>(2)</p> <p>(5)</p> <p>(2)</p>	<p>・テーマや自分たちが伝えたい思いを確認し、写真やインタビューメモ、感想などを関連付けながら必要な情報を整理し、おおよその構成を考えることができる。</p> <p>・テーマや伝えたいことと原稿の内容が一致しているかどうかを考えながら、他のグループの発表を聞いたり、建設的な意見を述べたりすることができる。</p> <p>・友達の見聞き取り、校正に生かすことができる。</p> <p>・テーマや伝えたいことと原稿の内容が一致しているかどうかを考えながら、他のグループの発表を聞いたり、建設的な意見を述べたりすることができる。</p>	<p>○取材した情報を整理し、編集する ※見たことを聞いたことを事実に基づいて正しく整理し書き出す ※情報を分析・評価して考えを書く</p> <p>○評価・意見交流 ※必要なことをメモし、自分の考えや立場を明確にして話し合う</p> <p>○評価・意見交流 ※必要なことをメモし、自分の考えや立場を明確にして話し合う</p> <p>○評価・意見交流 ※必要なことをメモし、自分の考えや立場を明確にして話し合う</p>		<p>【思考・判断・表現】</p> <p>・テーマに基づき自分たちが伝えようとしている目的と取材内容が合っているかを考え、必要な情報を選択したり、情報にあつた説明を加えたりしながら、思いを表現できる。</p> <p>【技能】</p> <p>・自分の考えを明確にして、相手に伝えることができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・友達の見聞きをしっかりと聞き入れて、原稿を修正できる。</p>
<p>12</p> <p>つかむ・見通す</p>	<p>「世界に発信！海と共に生きる気仙沼」をテーマにフォトブック完成フェスタを開く。</p> <p>17</p> <p>(1) 計画を立てる ①フォトブック完成発表会 ②親子マクロ教室 ③「世界に発信！海と共に生きる気仙沼」をテーマにパネルディスカッションをする</p>	<p>17</p> <p>(1)</p>	<p>・計画の内容を理解し、発表会に向けての意欲をもつことができる。</p>	<p>○計画を話し合う ※大事なことをメモしながら話し合う</p>		<p>【関心・意欲・表現】</p> <p>・計画の内容を理解し、発表会に向けて、友達と協力して取り組もうとする意欲をもつことができる。</p>

2	探究する	<p>(2) 完成したフォトブックを全体で見合い, 感想を述べ合う。</p> <p>(3) 発表会の練習・準備をする。</p>	<p>(1) ・自分たちが伝えたい内容になっているかや友達と協力して完成させたことなど考えながら感想を述べることができる。</p> <p>(7) ・成功に向けて友達と協力して準備に取り組むことができる。</p>	<p>○感想交流する ※感想を書く</p> <p>○プレゼンの練習をする。 ※発表の組み立てメモを作成し, メモを活用しながらプレゼンの練習をする</p>		<p>【気付き】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取材での苦労や友達との協力を思い出し, みんなの協力があっただけあがったことに気づくことができる <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成功に向けて, 目的をもって友達と協力して準備することができる
3	まとめ・伝え合	<p>(4) 「世界に発信! 海と共に生きる気仙沼」をテーマにフォトブック完成フェスタを開く 【プログラム】 ①フォトブック完成発表会 ②親子マグロ教室 ③「世界に発信! 海と共に生きる気仙沼」をテーマにパネルディスカッションをする</p> <p>(5) 「気仙沼から世界に伝えたいこと」をテーマに意見文を書く。</p> <p>(6) 1年間の活動を振り返ってまとめよう。</p>	<p>(5) ・自分たちの思いをもって伝えたりゲストティーチャーとパネル討論したり, 意見交流することで, 地域の一員として「海と共に生きていく」意味や喜び思いや考えを深めたり, 広げたりできる。</p> <p>(2) ・地域の一員として「海と共に生きる」ことの思いを表現することができる。</p> <p>(1) ・「楽しかった」「力がついた」などの有用感, 達成感, 充実感を味わい, 次の活動への意欲をもつことができる。</p>	<p>○発表会・パネルディスカッションをする ※発表メモを活用しながらプレゼンする ※必要なことをメモしながらパネルディスカッションに参加する</p> <p>○意見文を書く ※パネルディスカッション等での交流を生かし, 伝えたいことを明確にして意見を書く</p> <p>○まとめ感想を書く ※一年間のまとめを書く</p>	<p>・北鮪鯉組合 ・保護者や地域の方々, お世話になったの方々</p>	<p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表メモを活用しながらプレゼンすることができる <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の一員として「海と共に生きていく」意味や喜び思いや考えをもってパネルディスカッションに参加し, 考えを深めたり, 広げたりできる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の一員として「海と共に生きる」をテーマに伝えたいことを確にして表現できる。 <p>【気付き】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一年間の取り組んできた成果や成長を実感することができる。